

道づくりだより

第29号

2010.7 島根県道づくり調整会議



一般県道 出雲大東線 大東下分工区 開通

CONTENTS

1. 一般県道 出雲大東線 大東下分工区 開通！
2. 高速道路の無料化による交通量の変化
3. 「都市計画道路 中島染羽線」を利用したイベントの紹介
4. 林道を通って行きましょう！（西部編）
5. 恵曇漁港の臨港道路について
6. 「道路ふれあい月間」推進標語決定のお知らせ

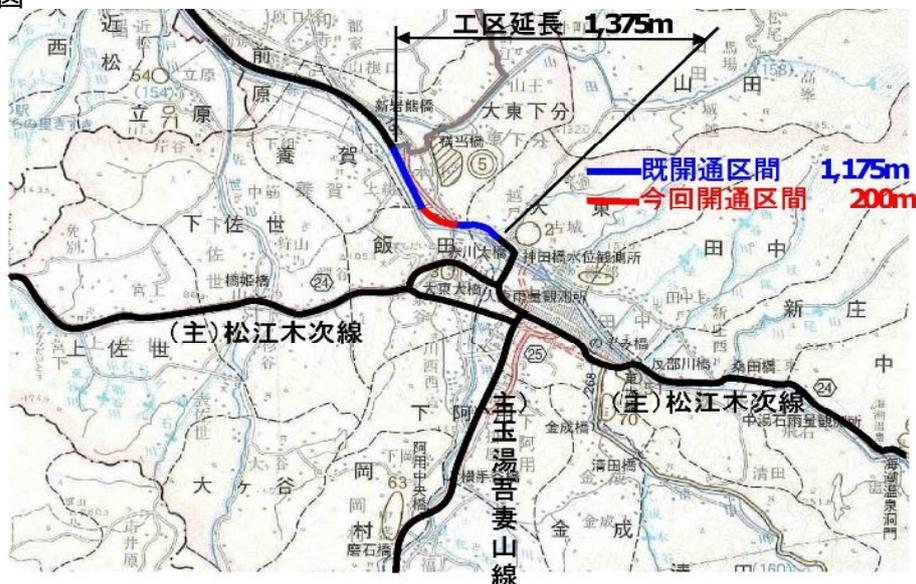


一般県道 出雲大東線 大東下分工区 開通！

一般県道出雲大東線は、出雲市上島町の主要地方道出雲三刀屋線を起点とし、雲南市加茂町を經由して、雲南市大東町の主要地方道松江木次線に至る路線であり、雲南市にとって地域連携を促進する重要な路線です。開通した区間は県立大東高校への通学路となっていますが、現道は1車線で歩道が無いことから、朝夕の通勤・通学時間帯は自動車と自転車・歩行者が輻輳し危険な状態となっていました。特にJR木次線才の神踏切については、自動車のすれ違いも困難であり、交通安全上の障がいとなっていました。

これを解消するため平成14年度より事業に着手し、平成20年度までに一部区間(約1.18km)が既に完成していましたが、この度、JR木次線才の神踏切改良を含む未改良区間の大東下分工区(バイパス区間約0.2km)が平成22年7月22日に開通しました。

位置図



事業概要

- 工区延長 1,375m
- 道路規格 第3種第3級
- 設計速度 40km/h
- 幅員構成 車道3.0m×2、路肩1.0m+0.5m、歩道(片側)2.5m 合計10.0m
- 事業期間 平成14年度～平成22年度

整備前・整備後状況

旧現道



大東下分工区開通(バイパス)



高速道路の無料化による交通量の変化

県内の高速道路(中国縦貫道を除く)では、6月28日(月)より無料化の社会実験が実施されており、対象区間における交通量が国土交通省から発表されました。

表: 実験対象区間の高速道路および一般道の交通量

区間名		観測日	高速道路交通量	国道9号交通量	高速分担率
安来道路	安来 ～ 東出雲	実験前 6/22(火)	9,000 台	24,300 台	27%
		実験中 6/29(火)	18,700 台	17,900 台	51%
		対実験前	208%	74%	
		実験中 7/18(日)	27,600 台		
山陰自動車道	宍道 ～ 松江玉造	実験前 6/22(火)	9,100 台	26,100 台	26%
		実験中 6/29(火)	24,300 台	16,000 台	60%
		対実験前	267%	61%	
		実験中 7/18(日)	31,000 台		
江津道路	江津 ～ 江津西	実験前 6/22(火)	1,900 台	16,100 台	11%
		実験中 6/29(火)	6,700 台	12,000 台	36%
		対実験前	353%	75%	
		実験中 7/18(日)	9,300 台		
全国平均		実験前 6/22(火)	8,700 台	15,700 台	36%
		実験中 6/29(火)	15,700 台	19,100 台	45%
		対実験前	180%	82%	
		実験中 7/18(日)	23,700 台		

県内の高速道路では、平日の交通量が2～3.5倍に伸びており、全国平均と比較しても非常に高い伸びとなっています。一方、並行する国道9号の交通量は3割～4割減少し、高速道路と国道9号だけでみると、高速道路の分担率(受け持つ交通量の割合)が1～3割程度から4～6割に増えています。また、朝夕のラッシュ時を含めて渋滞・事故などの大きな混乱は見られていません。

今後は、国で交通量や渋滞の状況などに加えて、地域経済への効果、観光地への入り込み、他の交通機関への影響等について調査・分析し、無料化の効果や影響を検証されることとなっています。

詳細はこちら

国土交通省道路局ホームページ

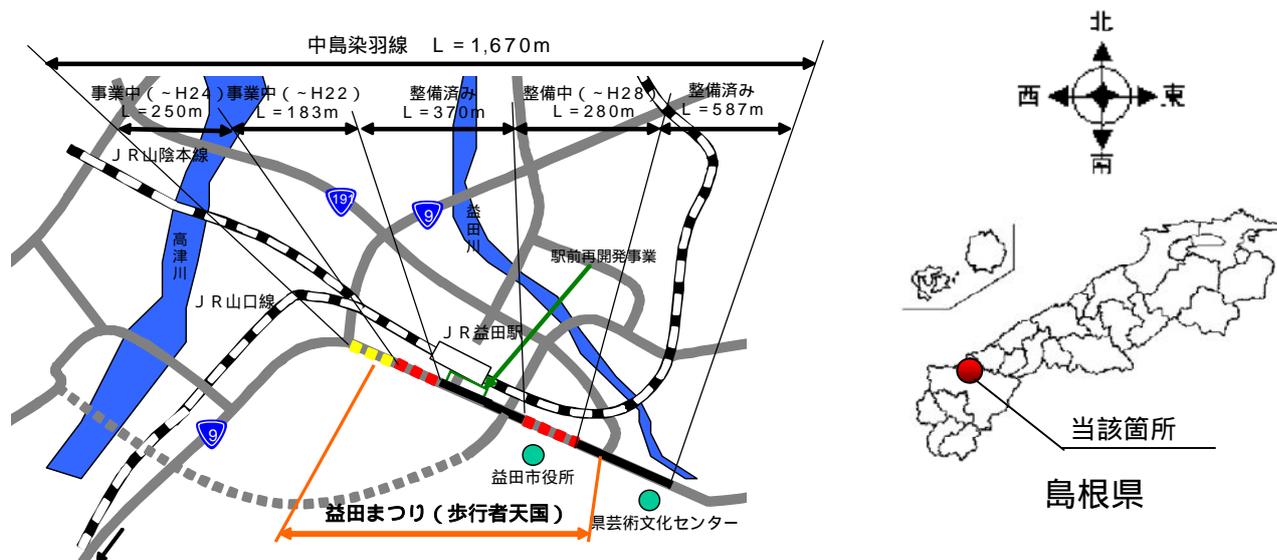
http://www.mlit.go.jp/road/road_fr4_000009.html

『都市計画道路 中島染羽線』を利用したイベントの紹介

道づくりだより19号で紹介しました都市計画道路中島染羽線において、平成22年7月24日(土)に「第53回 益田まつり」が開催されました。

中島染羽線は、現在、全体(L=1,670m)のうち、残区間(L=713m)の整備を進めており、JR益田駅から国道9号までの区間は平成24年度、JR益田駅からグラントワまでの区間は平成28年度の完成を目指しています。

今後も、市民に親しまれる益田市中心部の目抜き通りとして、整備した道路が有効に利用されることを期待しています。



事業の詳細につきましては「道づくりだより19号」をご覧ください

益田まつりの様子



益田音頭でパレードが行われました。



沿道に出店が並び、にぎわいました。

林道をって行きましょう！（西部編）

これから夏真っ盛り！観光シーズン到来です！
今回は西部地域の観光スポットへ利用されている林道を2路線ご紹介いたします。

林道 枕瀬山線

林道 笹山山入線



林道 枕瀬山線

延長 : 905m
幅員 : 3.0m
開設年度 : 昭和33年度
場所 : 鹿足郡津和野町大字枕瀬
管理主体 : 津和野町



林道 笹山山入線

延長 : 10,300m
(うち8,097m完成)
幅員 : 7.0m
開設年度 : 平成9~26年度
場所 : 鹿足郡津和野町大字笹山
施行主体 : 島根県(H20より実施中)
管理主体 : 津和野町



日原天文台

日原天文台では夜、75cm望遠鏡を使った天体観測を楽しむことができます。周囲に4つの小型望遠鏡があり、レンタルすれば一晩中星空を見つめることもできます。また併設の星と森の科学館では、地球の気と太陽系の惑星について学習することができます。石見地方の星の民話もあり、身近な所から宇宙を感じることができます。

〒699-5207
島根県鹿足郡津和野町枕瀬806-1
津和野町立 日原天文台
星と森の科学館、天文資料館
電話 0856-74-1646
FAX 0856-74-1647



青野山

島根県の最西端の町津和野に位置し、この町のシンボルである青野山は、標高907.6mのお碗を伏せたような乳房山である。青野山は、大山や三瓶山と同じく白山火山帯に含まれ、美しい典型的なトロイデ型火山地形をなしており、溶岩円頂丘の形状がきわめて明瞭である。頂上からは津和野の町並みが、また、遠く日本海も望まれ、格好のハイキングコースとして親しまれています。

現在、青野山登山道の青野河原駐車場周辺で林道工事を行っています。駐車場は利用可能です。登山道へは、案内標示がありますが、十分気を付けて通行してください。



えとも 恵曇漁港の臨港道路について

今回は「道づくりだより第23号」の小伊津漁港に続き、水産物や漁具などの運搬を円滑に行うために整備した恵曇漁港の臨港道路を紹介します。

恵曇漁港は、松江市の北西に位置し、東に手結（たい）、片句（かたく）と二つの分港を擁する漁港で、近くには県内唯一の原子力発電所が設置されています。開港の歴史は古く、江戸時代の天明（1781-1789）年間に松江藩が穴道湖と日本海を結ぶ佐陀川運河を開削して、藩都松江への海上輸送路を開き、盛んに船舶が往来するようになり、港としての価値を高めたとされています。

当漁港は昭和26年に第3種漁港に指定されて以来、本格的な整備が継続的に行われ、「底びき網漁業」などの基幹漁業によって安定的な漁獲物に恵まれて、県東部における水産物の生産流通の拠点としての役割を担っています。

臨港道路（L=392m）は、平成9年度より、港内の静穏を確保する防波堤や、漁獲物の陸揚げのための岸壁とともに整備され、荷さばき施設から各漁港施設及び加工場への連絡が円滑化し、漁獲物の鮮度保持が図られました。また、漁港西側に位置する古浦海水浴場へのアクセスが容易になり、平成17年度には漁港内の環境向上のための広場も整備され、水産振興はもとより、近隣住民の方の利便性の向上や、観光振興にも寄与するものと期待されています。



漁港位置図
(松江市鹿島町恵曇)



臨港道路 L=392m
H9 漁港修築事業～
H14 漁港広域整備事業

神名火公園
漁港環境整備事業
(H12～H17)

臨港道路(L=392m)のうち
神名火大橋(L=107m) 手前に見えるのが加工団地



漁港周辺の様子

神名火公園



古浦海水浴場



漁港周辺には、公園、海水浴場などが整備されています。
また、近年ビーチバレーボール大会などのイベントも開催されており、ご家族連れで楽しめるスポットです。

さまざまな漁獲物



漁港周辺では底びき網漁業、まき網漁業、釣り漁業など、多岐にわたる漁業が営まれており、多彩な漁獲物に恵まれています。

また、毎月第4土曜日に行われる「朝市」では、これらの新鮮な鮮魚を格安で取り扱っており、多くの方で賑わっております。機会があれば、ぜひ訪れてみてください！！



漁業振興のための整備

冷凍冷蔵庫



魚体選別機



漁港の整備といえば、防波堤などの波を防ぐための施設や、船を係留するための岸壁の整備が思い浮かぶ方も多いことと思います。恵曇漁港においては、不足するこれらの施設の整備はもとより、漁協による新鮮な水産物の安定供給のための施設の整備も実施されております。

上の写真は今年の6月に竣工した冷凍冷蔵庫です。この整備により、より高鮮度な漁獲物を消費者に提供できるようになりました。

これまで、このようなまとまった規模で選別や保管ができる施設がなく、加工原魚の供給が不足する場合は、境港などからの供給に頼っておりましたが、これからは漁獲後すぐに選別、保管、出荷ができるようになり、加工原魚の安定供給が図られると期待されております。そのため、漁港内の加工団地への流通を担う臨港道路の役割もますます重要になるものと思われます。

「道路ふれあい月間」推進標語決定のお知らせ



毎年8月は、「道路ふれあい」月間です。

道路の役割や重要性をあらためて認識し、道路をいつくしむ気持ちをもっていただくため、毎年8月を「道路ふれあい月間」と定めています。この月間中には全国で表彰をはじめとした様々な活動が行われます。

「道路ふれあい月間」推進標語とは

毎年1～3月頃に、「道路ふれあい月間」の行事の一環として、国土交通省が広く募集をしています。島根県では、募集期間には県庁道路維持課や各県土整備事務所、市町村役場、道の駅において応募用紙を配布しています。入選作については、ポスターやチラシなど、「道路ふれあい月間」における活動の推進に幅広く使用されます。

今年度は、「道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、子孫に受け継いでいきましょう。」をテーマに募集がありました。

平成22年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品は次のとおりです
最優秀賞（1作品）

また明日 きっと歩こう この道を

神奈川県 加藤広太さん 13歳(中学生の部)

優秀賞（8作品）

【小学生の部】

『つうがくる 大人になっても とおりたい』	高知県 石元あゆさん 10歳
『いつまでも よろしくですよ どうろさん』	高知県 西原ももかさん 11歳
『弟に あわせて歩く 帰り道』	東京都 宮下志穂さん 10歳

【中学生の部】

『何気なく 通るからこそ 感謝だね』	新潟県 石塚春秋子さん 13歳
『その道が 町一番の 名所です』	東京都 仲畑圭悟さん 14歳

【一般の部】

『もう少し 歩いてみたい 道が好き』	滋賀県 門木美椰子さん 80歳
『いい道で 出あいふれあい 語りあい』	香川県 新田賢明さん 59歳
『続いている 道の数だけ 夢がある』	愛知県 松永智文さん 27歳